



PRESIDENCY
OF THE REPUBLIC
OF BENIN

ベナン共和国大統領 政府行動計画

2016-2021 総論



共和国大統領からのメッセージ

2016年から2021年の5年間の政府行動計画は希望の源となるでしょう。

ベナンは、模範的な民主主義とその安定性のお蔭で、持続可能かつ包括的な開発、経済のダイナミズム、社会進歩を実現するために必要とされる資質をすでに持ち合わせています。あまりにも長い間手付かずだったこの“潜在力”、それが今、明らかにされるのです。

確かに、ベナンにとって、その西アフリカにおける戦略的な位置づけ、ヒューマンリソース、政治的安定性、その潜在力と文化遺産は明白な利点です。それゆえに、今はそれらを世に知らしめ、開発していく時なのです。

これこそが「ベナンレヴェレ」プログラム（明らかにされたベナン）、ベナン国民の才能とダイナミズムの発展のためのより良い枠組みを確立し、国の発展を持続的に促進させることを目指す政府行動計画なのです。

「ベナンレヴェレ」プログラムは、制度、経済、社会の側面に同時に働きかけます。とりわけ経済の主要分野においては、45の主要プロジェクトが実施され、主に民間セクターのパートナーの支援を得て実施されることとなります。このプログラムは、ベナンの歴史の中でも前例のない膨大な投資額を提示していますが、これは雇用の供給を増やし、人口の福利厚生を改善し、富を創出し、国際的にベナンの地位を高める効果を意図するものです。

このように、ベナン全国民にとって、経済のあらゆる分野において、また我が国とその提携国との関係にとって“新たな出発”がいよいよ始まるのです。

パトリス タロン
ベナン共和国大統領

"ベナンの国民は、その一人一人を取って見れば、
皆、才能とダイナミズムに溢れている"
パトリス・タロン
ベナン共和国大統領

目次

1 / ベナンの包括的发展プログラム..... 6

2 / 主要ガイドライン..... 10

第一の柱: 民主主義の定着,
法の支配、グッドガバナンス..... 11

第二の柱: 経済の構造変革の開始..... 14

第三の柱: 国民の生活環境の改善 18

3 / 実施方法 22

主要プロジェクト一覧表..... 26

1/ ベナンの 包括的发展 プログラム



共和国大統領の大きな志、それは、与えられた五年の任期を国家の再生、発展の五年間にすることです。この文書は、2017-2021年間の政府行動計画PAGのロードマップ「ベナンレヴェレ」プログラムをまとめたものです。このプログラムは、45の主要プロジェクトに基づいており、それを95の部門別プロジェクトが補完しています。ほぼ同時に、かつ迅速に開始されたさまざまなプロジェクトは、ベナンの経済社会変革を目指しています。

現在のベナンの状況について

約26年続いている民主主義と経済自由主義、またベナンが持つポテンシャルにもかかわらず、持続可能な発展の成果達成の進展は芳しくありません。人口の40.1%が貧困ライン以下で暮らしているため、貧困の状況は依然として懸念されています。人間開発指数(HDI)は2015年に0.48と推定され、ベナンは世界188国中166位にランクされています。ベナンのガバナンスは、様々な次元で、効率性、透明性、説明責任という点で顕著な弱点を呈しています。模範的な政治的安定性にもかかわらず、公共政策の定義と実施には深刻な欠陥と非効率性が認識されています。

徹底的な診断に基づき設計されたプログラム

2016年4月に就任したパトリス・タロン大統領と共に、ソーシャルプログラム「新たな出発(Le Nouveau Départ)」に基づいた、公的活動ガバナンスの新時代が始まりました。大統領は、2016年4月6日の就任演説で、国の新たなダイナミズムを刺激するために、大幅な改革を行うという野望を明確に述べました。

「従って、政治改革、国民経済の再構築に緊急に必要なのは、市民への信頼回復と自国の信頼回復による社会基盤の回復なのです」

新政府が設立されるや否や、優先開発プロジェクトとその資金調達方法を確認する補完的な検討が行われました。そして開発のためのアジェンダ2030(ODD)と気候変動に関するパリ合意(COP21)の結論を反映する検討結果を基に、“ベナンレヴェレ(Benin Révélé)”プログラムが構築されたのです。

政府は、政治的、行政的、経済的、社会的政策の梃子入れを同時に行い、急速且つ大規模、そして持続可能な経済回復を刺激していくことで、国を動かすことを選択しました。具体的な目標は、投資のためのより良い枠組みを確立し、ベナンの人々の日常生活を改善することです。大胆な改革はより効率的な経済、より公平な公共サービス、資源と機会へのアクセスを可能にし、コミュニティ、企業、個人間の信頼を高めつつ、開放的で透明な民主主義体制へのより多くの人々の参加に向けて、行われていくことになります。

政府行動計画「ベナンレヴェレ」プログラムは、政府の行動を調整する唯一の手段であり、各省庁の活動プログラム作成、国家予算の実施にも用いられます。

プログラムの構造

「ベナンレヴェレ」プログラムは3つの主要な柱に基づいており、それ自体が以下の7つの戦略軸から成っています。

第一の柱	第二の柱	第三の柱
法の支配、 グッドガバナンス	経済の構造変革の開始	国民の生活環境の改善
戦略軸 1	戦略軸 3	戦略軸 6
民主主義基盤と法の支配 の強化	マクロ経済の枠組み改善 と安定性の維持	基本的な社会福祉と 社会保障の強化
戦略軸 2	戦略軸4	戦略軸 7
ガバナンスの改善	経済成長の改善	国家空間のバランスの取 れた持続可能な発展
	戦略軸 5	
	教育実績の向上	

45 主要プロジェクト
これらは構造化を促すプロジェクトであり、そのうちのいくつかは官民パートナーシップの実施を通じて資金提供されます。これらのプロジェクトは、共和国大統領の監督下に直接配置された機関が主導します

95 部門別プロジェクト
これらのプロジェクトは、関係する様々な分野における官民共同プログラムの主要な構成要素を支援することを意図しています

19 組織改革
これらの改革は、より均衡のとれた民主的枠組みの構築とガバナンスの強化を目指します



2 / 主要ガイドライン



Rodrigue Ako

第一の柱

民主主義の定着、 法の支配、グッドガバナンス

ベナンの民主的及び制度的安定性は、国際社会においても認められています。これだけでも国にとっては強い切り札であり、国の発展にとっては何にも代えがたい信用を保証してくれるものです。

しかし、過去26年間の行政権の行使をみると、1990年12月11日の憲法に、権力とその対抗勢力とのパワーバランスが最適でないことが明らかにされています。大統領の圧倒的な権力が逆に国の弱点を構成していたのです。

これに関して、政府は、国の民主的安定を維持し、制度のバランスを最適化し、より効果的な公共政策の実施を確保しつつ、ベナンをアフリカにおけるグッドガバナンスの手本とすることを目指します。

従って、包括的な制度及び政治的改革が予定されています。その目的は、憲法を改正し、人的、社会的小および経済的发展に有利な法的手段を設けることです。

行政ガバナンスの改善は、この分野の優先課題のひとつです。

戦略軸 1

民主主義基盤と法の支配の強化

これには、憲法改正、カウンターパート側の機関の強化、司法へのアクセス改善が含まれます。

フォーカス:よりバランスのとれた制度的・民主的な枠組み

この戦略軸は、1990年12月11日の憲法改正、行政法律の採択、党派制度の活性化など、法の支配の課題に対応する法的手段の確立そして選挙制度の近代化に特化するものとなります。

加えて、他の法的手段は、憲法裁判所と高等法院を含む権限体制の強化と、司法の独立性を目指します。会計監査院も憲法上の機関として設立されます。

戦略軸 2

ガバナンスの改善

これには、とりわけ、行政の電子化と脱物質化(スマート政府)、国家憲兵隊と国家警察の合併が含まれます。さらに、世界に向けてベナンの経済関連のオファーを発信していくため、開発のための外交が行われることになります。

最後に政府と海外移民(ディアスポラ)との間で締結されたパートナーシップ条約は、ベナンへの直接投資を促すことにより実施され、国外からもベナンの技術と才能が推進されていくことになります。

フォーカス: 経済外交

ベナン外交ネットワークは、“ベナンレヴェレ”プログラムの実施のために近代化され、動員される予定です。大使館は、新しい市場開拓、ベナン文化の紹介、投資家にわが国の観光潜在力をアピールする等、重要な役割を果たすことになります。また、ナイジェリアに対しても共同体協定と二国間協定の条項に従い、自由貿易を促進する目的で、より効果的な外交が行われることになるでしょう。

その目的は、ベナン外交を、ベナンの発展に向けて、国の威信の普及と資源を動員させるための真の道具にすることなのです。



経済の構造変革の開始

この柱は「ベナンレヴェレ」プログラムの中心に据えられます。経済を抜本的に改革すること、これがベナン国民の日常生活を改善するために必要な条件を作り出すからです。

このように、このプログラムは構造的かつ必要な改革を実施することで公的財務管理システムを強化し、ビジネス環境を改善させるのです。

健全で安定したマクロ経済の枠組みは、中期的には成長と福祉の向上にとって不可欠ですが、それ以上に、5年間にわたる大規模な投資プログラムをバックアップするものになります。これは必要な財源を動員するために不可欠な梃子の役割を担います。

徹底した公共資源の利用、金融機関の再編成、経済的ダイナミズムを生み出す新たな環境、これらすべてが国内資源の増大に繋がります。それはベナンの経済面における信頼性回復の一助にもなるはずです。

行動計画は、3つの戦略軸に基づいて行われます。

戦略軸 3 マクロ経済の枠組み改善と安定性の維持

これには、官民パートナーシップ実施のための統一された規制枠組みの導入、公共の調達システムの近代化と専門化、財政の透明性の向上、民間投資促進のための税制措置、サブ地域統合の促進、主にサブ地域市場に供給するための加工産業の促進等が含まれます。

フォーカス: ビジネス環境改善のための補完的措置

政府は、世界銀行のビジネス環境指数に関するベナンの業績を改善するための一連の措置を講ずる予定であり、とりわけ、企業の創設、運営および閉鎖に関する規制の改善、コトヌー物流プラットフォームや産業・農村へのアクセス改善、投資コードの改革、経済の主要セクターにおける競争促進メカニズムの整備等が行われます。

戦略軸 4 経済成長の改善

経済の振興については、確かな潜在力があるにもかかわらず、現在過小評価されている戦略分野が土台となります。

フォーカス: 経済振興のための戦略的セクター

デジタル経済

ベナン政府は、2021年までに、経済成長と社会的包摂の促進のため、ベナンの経済の活性化と近代化の触媒として情報通信技術（ICT）を利用することを目指しています。目標は、中期的にベナンを、西アフリカ全土におけるデジタルサービスプラットフォームに仕立て上げることです。

この新しい戦略は、ブロードバンドへのアクセスに基づいて行われ、その回線普及率80%を達成するため、またそのセクターの浄化も含め、大規模なインフラ開発が土台となります。

これは市場規模を現在の2倍にし、情報技術分野（ICT）においては、90,000人の直接雇用を創出することになります。

農業

経済発展、富及び雇用創出のため、農業分野のテコ入れとして、政府は7つの地域農業開発拠点を創設し、付加価値の高いパイナップル、カシューナッツ、綿花、トウモロコシ、キャッサバ、米などの部門の開発を促進します。

農業分野に多額の投資を呼び込むために、政府は、セクターごとに個別の研究機関と、農業開発センターの農業専門学校の創設を想定しています。また、農業および農村部門における民間投資を促進する手段や方法にも特に重点が置かれることとなります。

その一例として、ウエメ渓谷に6,000ヘクタールの耕作可能な土地の開発に、2500人の若い農業起業家の入植を奨励しています。

観光と文化

観光産業のGDPに占める割合がベナンの場合0.7%と言うのは控えめすぎるように思われます。逆説になりますが、ベナンの観光ポテンシャルはアフリカ諸国の中でも特別大きいと言えるのです。新政府の目指すところは、観光を経済発展分野に位置づけ、富と雇用を創出し、国際的にベナンを知らしめるための道具とすることです。

この目標を達成するために、ベナンには切り札がいくつもあります。代表的なものとしては、西アフリカの最も豊かな動物と自然公園（ペンジャリとWパーク）、歴史的な都市 ウイダ（奴隷貿易の遺跡を利用し再建されます）、さらにアフリカ最大の湖沼都市ガンビエ（Ganvié）に焦点が当てられます。

輸送ネットワーク

ベナンの地理的ポジションは、西アフリカの特定の国々をつなぐ回廊を構成しています。この戦略的な切り札をフルに活用し、経済成長を支援するために、政府は、輸送インフラを輸出促進のための重要な梃子と考えます。

特に輸送、物流の改善に重点が置かれます。

- コトヌー自治港の近代化と拡張工事
- コトヌー自治港周辺の道路網の再開発工事
- グロー・ジベ (Glo-Djigbé) 新国際空港の建設
- 国道網の改修工事、近代化、道路約 1,362kmの延長工事

エネルギーと鉱山

競争力のある独立したエネルギーシステムと 信頼性の高い高品質の電力をベナンの国民及び生産セクターに供給するため、政府は電力 部門の近代化と拡大を計画しています。

ベナンのエネルギー供給容量を強化するために、合計95MWの太陽光発電施設の設置に よる再生可能エネルギーの開発も選択肢の一つとなっています。

最後に、地下資源開発に関しては、政府は、 ベナンの鉱山開発能力の開発から着手する ことが必要と考えます。

工芸部門

政府行動計画は工芸部門の生産を増加させます。 支援インフラを構築、拡張し、工芸品の開発に備えるだけでなく、職人の技術能力の強化をも目指しています。

戦略軸 5

教育実績の向上

教育制度は、新しいガバナンスの開発と教育の質の向上、教育システムを国や企業のニーズに適応させ、科学部門の研究を強化することにより、再構築され、 近代化されます。

フォーカス:
知識とイノベーションの国際都市建設構想(ICIK)

目的

ICIKは、教育、研修、起業家精神を通じてアフリカ市場のスキルニーズに対応するための挑戦的な枠組みを提供することを目指しています。長期目標は、ICIKの卒業生と参加者の少なくとも1/3が自ら自分の仕事を創出していくことです。

説明

ICIKは、ベナンに拠点を置く知識とイノベーションの中心地となります。高等教育および科学研究における卓越した センターの設立を促進するとともに、革新的分野における国家レベル又は地域の 逸材の出現を後押しします。

この活動は、高等教育、研究、準備期間といった3つの分野で構成されます。優先的にICIKの対象となる市場は、アフリカの15か国、これらの国では2015年には潜在的な学生数が約380万人になると想定されていました。

ICIKが提供する教育

ICIKは、卒業証書や資格認定訓練プログラム、 職業 訓練プログラム、技術訓練プログラム、継続教育プログラムなど、ビジネスと研究との強力なリンクを持つ、多分野にわたる多言語教育の提供を行います。

その教育には、サブ地域のエリートを養成し、学士から博士までの学位を授与するためのグローバルな教育提携が含まれます。

ICIKで提供されるトレーニングは、政府の主要 建設事業をサポートするようにも設計されています。

インフラ

ICIKは、原則、“スマートシティ”方式により管理されることとなります。

広さ100ヘクタールの土地に、段階的に、建設される予定で、キャンパスのみならず、居住施設。 商業施設やレクリエーション施設はすべて国際基準になります。

ICIKはその固有な都市コンセプトを通して持続可能な開発のパイオニアとなります。(リサイクル、モジュール化の度合い、コンパクト性、人口密度等、)そしてそれは、ゼロ廃棄政策、大規模な緑地スペースの確保、高度道路交通輸送システム、再生可能エネルギーの整備につながって行きます。

影響

ICIKは社会経済的に大きな影響を与え、2030年までに約130,000人の大学卒業生と2030年までに190,000以上の直接及び間接雇用が創設され、そのうちの少なくとも1/3は自営業になる見込みです。



Getty Images

国民の生活環境の改善

社会保護の欠如は、特にベナンの最も恵まれない人々を直撃します。保健衛生面においても、非効率な緊急政策が改善されないままの状態です。

国民の生活状況は、飲料水とエネルギー供給の整備の遅れ、解決されない土地利用計画や衛生問題のために不安定です。

最後に、スポーツとレジャーの分野は、それが人的、社会的、経済的発展の道具となり得るにも関わらず、未だに一貫した構造の体を為していません。

政府は、「ベナンレヴェレ」プログラムにおける国民生活レベルの改善を優先課題としました。これには、新しい社会保障政策の導入と全国民のための基本的な社会保障サービスへのアクセスが含まれます。

政府は、特に最も恵まれない人々の社会保護に力を入れます。

国民のために、継続的な訓練や特定のプロジェクトの資金調達のためのマイクロクレジットの付与を通じて、所得創出活動を支援する方針を立てています。

国民の生活レベル改善に関しては、次の2つの戦略軸に沿って実施されます。

戦略軸 6

基本的な社会福祉と社会保障の強化

このプログラムには、ベナン全土、どの地域においても、インフラ、水と電気へのアクセスを可能にすること、医療診療を容易に受けられるための医師の募集などが含まれます。さらに、新たな法律と規制の枠組みの採用により、受益者が個別に支払う保険分担金に国が補助金で補完する形の社会保障メカニズムの確立を可能にします。

また、人的資本増強 (Assurance for Human Capital Enhancement (ARCH)) のため、農業従事者、商人、運送人、芸術家や職人を対象とした4種類の社会保障制度が制定されます。さらに雇用促進のための窓口「ギシェユニーク」も創設されます。

スポーツに関しては、大学、軍隊、及び市町村においてスポーツ協会が創設され、さらに新たに設立される12のスポーツアカデミーが、県レベルでの才能開発を担います。

フォーカス： 社会保障

戦略的目標

政府は、最も貧しく、生活基盤が脆弱な人々を保護するため、**共通健康保険制度を通じて400万人のベナン国民を支援します**。社会保障措置は、特にインフォーマルセクター（非公式経済）で働く商人、農業従事者、職人、芸術家、運送業者を対象としています。

説明

この主要プロジェクトは、**健康保険、職業訓練、退職後の年金制度、マイクロクレジット（小口金融）**といった4つのタイプの社会保障サービスにより構成されています。この枠組みに沿って、国及び県ごとに社会保障機関が設立されます。

直接雇用

このプロジェクトにより創出される雇用数は2,000件とみなされます。

フォーカス： ベナン全国民の生活の質と福利厚生 の向上を目指して

“生活環境及び持続可能な発展を目指す省”の創設自体、活気ある安全な都市において包括的に持続可能な開発を促進させたいとする政府プロジェクトの選択肢をよく表しています。

国民の生活環境を改善し、経済的離陸の梃子入れとして機能する大型都市プロジェクトの実行には約**1兆6,000億CFAフラン**かかると見られます。

まず、県庁所在地に2万戸の住宅を建設するプログラムが立ち上げられます。廃棄物収集及びゴミ管理システムは近代化される予定です。西アフリカ最大の市場であるダントッバ市場とコトヌー市の中心部は改修されます。

パラクーの国際市場は近代化され、その周辺地域の発展を支える重要な拠点となります。

コトヌー、ポルト・ノヴォ、パラクー、ボヒコン、アボメイ、セメ、アボメイ・カラビ、ナティティング市の第一、第二、第三道路は、改修され設備されます。

戦略軸7

地球に優しい持続可能な国土開発

これには、国連の持続可能な開発目標 (SDO) と並行して、バランスのとれた持続可能な国土開発が含まれます。

そのための取組として挙げられるのが、国民の生活環境の改善、経済発展、地方の民主主義の強化、格差の是正、公共サービスへのアクセスの不平等を軽減させるといった大都市プロジェクトを実現させることなのです。



フォーカス：パラクーの中央市場

戦略的目標

政府は、この市場が地域の経済発展を底から支えていけるよう、市場の機能の大幅な改善を目指しています。さらに周辺住民からの市場へのアクセス方法を改善する必要があります。

説明

市場施設は近代化され、市場周辺の交通網は改善され、さらに道路と駐車スペースが改修されます。地域の清掃と廃棄物の持続的な管理も考慮されています。

10年後の経済社会的影響

商業活動を刺激し、商人の衛生状態と労働条件を改善します。

直接雇用

この主要プロジェクトを通じて1,200の直接雇用が創出されます。

フォーカス：2021年までに全国民が飲料水にアクセスできるようにする

今日、ベナンの全人口のほぼ50%は未だに飲料水を日常的に利用できていません。この状況に直面した政府は、飲料水を飲む権利はすべての人にあることから、2021年までに全国民に飲料水へのアクセスを確保することを目指しています。

この目標の達成は、国連の、“水、衛生、持続可能な資源管理へのアクセスに関する持続可能な開発目標（SDG）No. 6”に沿うものです。

この飲料水への恒久的なアクセスは、“都市、農村部および農村部の水生産と流通能力の開発のための改革プロジェクト”の実施を通じて実現され、580万人がその恩恵を受けることになります。

このセクターの円滑な運営には地方自治体や市民団体との間で官民パートナーシップをより多く導入していくことが望まれています。



3 / 実施方法

“士気の高い有能な指導者グループは、
自由と平和な民主主義環境の下であれば、
我々の開発計画を首尾よく迅速に実施できるはずである。”

パトリス タロン
ベナン共和国大統領

プロジェクト実施における管理及びモニタリング

政府は、開発管理の基準に基づき、効果的な実施に必要な 手段をすべて提供するため、“ベナンレヴェレ”プログラムの進捗状況のモニタリングと調整システムを、以下の機関中心に設置しました。

- 閣僚会議：一般的なガイドラインを示す閣僚会議は、実施報告書を審査し承認します。
- 主要プロジェクト監視委員会：共和国大統領の監督下に置かれています。
- モニタリング及び評価委員会：国家計画開発国務大臣の監督下に置かれています。
- 部門別モニタリング委員会：閣僚が議長を務めます

フォーカス:実施機関

「ベナンレヴェレ」プロジェクトに関連する事業に携わる ために、部門別省庁が定めた行動及び改革計画を実際に実施する独立した実施機関が設立されます。

独立した実施機関を設けることで、投資を実行する能力が向上し、それにより国民のためのプロジェクト実現が促進されます。

各機関の調整は、共和国大統領の分析調査局(AIB)によって行われます。

マクロ経済枠組みの結果の総括

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
GDP（10億CFAフラン）	5002.2	5274.3	5663.3	6190.4	6769.9	7379.4	7990.2
変動率 %							
GDP 2007年の価格で	5.0	5.0	6.0	7.1	7.0	6.6	6.0
GDP比率%							
投資金利	22.4	18.8	32.7	34.6	44.9	41.3	16.4
公共	7.5	6.3	15.2	12.5	10.6	9.5	7.2
民間	14.9	12.5	17.5	22.1	34.3	31.8	9.2
貯蓄・投資バランス	-6.8	-6.3	-15.1	-18.8	-19.1	-17.6	-11.1
総所得	16.4	16.1	15.6	16.1	16.2	16.2	16.1
税収入	14.3	14.1	13.8	14.3	14.4	14.5	14.4
税外収入	2.1	2.0	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7
総支出額	24.8	21.0	29.5	26.0	23.5	21.8	19.0
貸金総額	6.9	6.5	6.2	5.9	5.5	5.1	4.8
公共投資	7.5	6.3	15.2	12.5	10.6	9.5	7.2
債務利子	0.7	1.6	1.8	1.7	2.0	2.1	2.3
総合財政赤字(スケジュールリングベース、援助金含む)	-7.9	-3.9	-12.5	-7.7	-6.0	-4.3	-2.1
GDP対国内外未払い債務	41.6	50.0	58.2	62.9	63.1	62.0	61.3

出典：DGAE october 2016

費用

「ベナンレヴェレ」プログラムの総費用は、90,390億CFAフランと推定されています。そのうち8,890億CFAフランがすでに確保されており、資金調達には81,500億CFAフランが必要になります。

「ベナンレヴェレ」プログラムに登録されているプロジェクトのポートフォリオには、政府が同時に開始する予定の総額70,860億CFAフランと推定される45の主要プロジェクトが含まれます。

	CFA フラン	ユーロ
総予算	90,390 億	137.8 億
主要プロジェクト予算	70,860 億	108.0 億
確保済み予算	8,890 億	13.6 億

資金調達

政府は、この「ベナンレヴェレ」プログラムに資金を提供するために、官民パートナーシップ（PPP）を通じて、優先的に民間セクターの資金を動員することを選択しました。

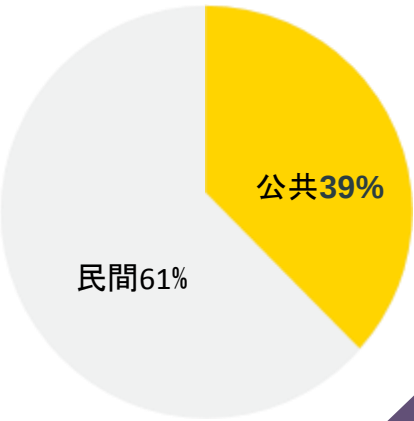
民間セクターパートナーの貢献は、プロジェクトの資金調達の71%に達すると予想されています。

国家は、真の経済再活性化を促進するために国内収入を増やすことによって投資努力に貢献します。政府は、金融技術パートナーからの譲許的融資または半譲許的融資を利用します。

地方の市場に導入される資金の最適な利用法と公的債務の効果的な管理に関しては、別の資金調達戦略軸が用意されています。

このように、この選ばれた経済発展モデルは厳格なガバナンスと官民パートナーシップに基づいて構成されているのです。

政府行動計画の資金調達構造



フォーカス：プログラムのインパクト

マクロ経済レベルにおいては、「ベナンレヴェレ」プログラムの投資計画は、2016年のGDPの18.8%から5年間平均で34%、2019年には45%のピークを達成することを目指しています。

これらの投資水準は、少なくとも5年間の平均成長率6.5%の達成を可能にします。また、これらの投資介入により、期間中少なくとも50万人の直接雇用および誘発された雇用の創出を可能にします。

目次

主要プロジェクト一覧表

SECTORS	プロジェクト
観光 	- ペンジャリサファリパーク - 湖上の集落ガンヴィエ - アボメイ・ポルトノヴォ 地区 - プレミアム観光地-タタソンバ - 歴史の都市ーウイダ - ビーチリゾート
農業 	- 高付加価値農業生産ライン(パイナップル, カシューナッツ,生鮮野菜) - 従来の農業生産セクター (米、トウモロコシ、 タピオカ) - 内陸水産養殖業 - ウエメ盆地開発(低、中高地) - 食肉、牛乳、卵生産業
インフラ整備 	- グロージベ新国際空港建設 - コトヌー港の近代化及び拡張工事 - コトヌー市と港をの道路網ネットワークをアップグレードする。 - コトヌー市北部バイパス建設 “ルート・デ・ペッシュ”開発 (第二期) - セメ・ポジーポルトノヴォ間高速道路建設 - ジュグー - ペフンコ - ケルー間道路建設 - 長さ1362kmに亘る道路網の拡張工事
デジタル 	- ブロードバンド、超高速インターネット回線 - 地上デジタル放送 - スマート行政(行政のインテリジェント管理) - 国内電子決済システムの導入 - 教育・職業訓練分野のデジタル化 - デジタルコンテンツの開発・普及

SECTORS	プロジェクト
電力 	- 電力セクター: 電力に競争力のあるアクセスを確保 - 再生可能エネルギー開発 - 国営発電所と送電網の再編 - 電力消費量の制御
生活環境 	- コトヌー・ラグーン(潟)土手整備 - ポルトノヴォ・ラグーン(潟)土手整備 - コトヌー市における廃棄物管理 - コトヌー旧ミッドタウン再開発(ガニー) - ダントツパ市場近代化 - パラクー国際マーケット建設 - コトヌー国際複合施設建設 - ゲゾ・ビジネスセンター建設 - 交通路(道路・水路管理)整備修復 - コトヌー市における雨水排水浄化事業 - 低家賃住宅建築計画
IKIC 	イノベーションと知識の国際都市建設計画 (Creation of an International City of Innovation and Knowledge) IKIC
飲料水 	- 信頼できる水資源の開拓 - 農村および準都市の全人口に飲料水を提供 - 都市とその周辺地域における飲料水生産及び流通能力の開発
社会保護政策 	最貧困層への社会保障制度



Download the summary
of the Government Action Programme (2016-2021)
from the website of the President's Office:

www.presidence.bj/benin-revele/



#RevealingBenin - @revealingbenin